

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第3部門第2区分
 【発行日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【公表番号】特表2003-534332(P2003-534332A)

【公表日】平成15年11月18日(2003.11.18)

【出願番号】特願2001-586272(P2001-586272)

【国際特許分類】

C 0 7 D 243/08 (2006.01)

A 6 1 K 31/551 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/06 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/08 (2006.01)

C 0 7 D 401/06 (2006.01)

C 0 7 D 401/14 (2006.01)

C 0 7 D 409/06 (2006.01)

C 0 7 D 487/04 (2006.01)

【F I】

C 0 7 D 243/08 5 0 2

C 0 7 D 243/08 5 0 6

C 0 7 D 243/08 5 0 7

A 6 1 K 31/551

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/00 1 0 1

A 6 1 P 25/06

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 37/08

C 0 7 D 401/06

C 0 7 D 401/14

C 0 7 D 409/06

C 0 7 D 487/04 1 5 5

【誤訳訂正書】

【提出日】平成19年7月20日(2007.7.20)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0136】

例16

(3S)-3-(3,4-ジクロロベンジル)-1-(2-メチルナフタレン-1-イルメチル)-[1,4]ジアゼパン-2,5-ジオン

例1について記載した手順に従い、工程(a)でビス-3,5-トリフルオロメチルベンジルアミンに代えて、1-アミノメチル-2-メチルナフタリンを用いて、標記化合物を匹敵する収量で得た。

MSm/e(%) : 441.4 (M+H⁺, 100)。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0139

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0139】

例19

(4S)-4-(3,4-ジクロロベンジル)-6-(2-メトキシナフタレン-1-イルメチル)-7,8-ジヒドロ-6H-1,2,3a,6-テトラアザアズレン-5-オン

ジメチルホルムアミド2ml中の(3S)-3-(3,4-ジクロロベンジル)-1-(2-メトキシナフタレン-1-イルメチル)-[1,4]ジアゼパン-2,5-ジオン107mg(0.25mmol)の懸濁液に、鉱油中の55%水素化ナトリウム懸濁液20mg(0.5mmol)を、アルゴン下、室温で加えた。清澄な溶液が(約20分以内に)形成された後、ビス(ジメチルアミノ)ホスホクロリデート85mg(0.5mmol)を加えた。反応混合物を、アルゴン下、室温で3時間攪拌した。ホルミルヒドラジン(60mg、1mmol)を加え、攪拌を130℃で終夜継続した。減圧下で溶媒を蒸発させた後、重炭酸ナトリウム溶液(5ml)を加え、混合物を酢酸エチルで3回抽出した。併せた有機層を、乾燥(MgSO₄)し、濃縮した。残渣をカラムクロマトグラフィー(SiO₂、ジクロロメタン/メタノール)によって精製して、標記化合物50mg(44.2%)を白色結晶として得た。

MSm/e(%) : 481.3 (M+H⁺, 100)。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0147

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0147】

例26

塩酸(RS)-1-(3,5-ビス-トリフルオロメチルベンジル)-3-(3,4-ジクロロベンジル)-5-プロピルイミノ-[1,4]ジアゼパン-2-オン

ジメチルホルムアミド2ml中の(RS)-1-(3,5-ビス-トリフルオロメチルベンジル)-3-(3,4-ジクロロベンジル)-5-チオキソ-[1,4]ジアゼパン-2-オン160mg(0.31mmol)の懸濁液に、鉱油中55%の水素化ナトリウム懸濁液25mg(0.6mmol)を、アルゴン下、室温で加えた。清澄な溶液が(約20分以内に)形成された後、ビス(ジメチルアミノ)ホスホクロリデート106mg(0.62mmol)を加えた。反応混合物を、アルゴン下、室温で3時間攪拌した。プロピルアミン(91mg、1.25mmol)を加え、攪拌を50℃で終夜継続した。減圧下で溶媒を蒸発させた後、重炭酸ナトリウム溶液(5ml)を加え、混合物を、酢酸エチルで3回抽出した。併せた有機層を、乾燥(MgSO₄)し、濃縮した。残渣をカラムクロマトグラフィー(SiO₂、

ジクロロメタン／メタノール＝９５：５）によって精製し、エタノール中のＨＣｌを用いて、塩酸塩へと転換して、標記化合物５６ｍｇ（３０％）を白色結晶として得た。

ＭＳ m/e （％）：５５４．１（ $M+H^+$ 、１００）。